

新緑

No105号 日本共産党高取支部
2020年9月発行

なんでも相談

子育て・介護・その他困っている事等
気軽にご相談ください。



高取町議会議員
新沢あけみ 0744-52-4408
メール an330317@aurora.ocn.ne.jp

コロナ禍のもと子供たちの学校生活・暮らし・営業を守るために何ができるのか

今必要なことは、感染拡大を抑制するために、医療・検査体制の抜本的強化をすること、こどもたちの健康を守り手厚い教育をすすめること、営業とくらしを守ることです。6月現在における課題と今後の取り組みについてたどしました。質問、提案の内容は、(9月議会だより参照)

新沢あけみ議員の6月議会一般質問

- ・小中学校の動画授業について
- ・放課後児童クラブの密対策はどうするのか
- ・介護、障害者施設のかかえている課題と支援について
- ・営業への影響の実態はどうか。減収対策として、国の支援対象者を緩和した給付や固定費の助成を。また町内店舗利用券(地域振興券)の配布を検討してはどうか。
- ・税金・保険料の軽減策の検討を。
- ・大学生・専門学校生の学費の助成を
- ・今年度事業の進捗状況は



町実施の新型コロナウイルス感染症対策

(6月・7月議会で予算化、条例制定)

総額

国庫補助金 1億7911万1千円
 県補助金 1893万5千円
 町費 199万4千円

くらし応援

- ・町内利用の地域振興券を1人5000円分配布
- ・個人住民税、固定資産税等の徴収猶予
- ・コロナの影響による減収に対して、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免
- ・国民健康保険・後期高齢者医療において、感染した被保険者に傷病手当金を支給
- ・学校給食食材納入業者へキャンセル料
- ・県の休業要請に応じた中小企業、個人事業主に10万円支給



- ・自治会に感染防止対策経費助成
- ・全世帯にマスク50枚配布
- ・全世帯に次亜塩素酸水配布
- ・水道料金の基本料金3ヶ月間免除
- ・児童手当受給世帯の児童1人につき1万円支給
- ・児童扶養手当受給世帯の児童1人につき1万円支給
- ・児童等へのお弁当提供に助成
- ・可燃物ゴミ袋を1世帯1袋配布
- ・70歳以上の方へハンドソープ配布
- ・新生児に対する特別定額給付金10万円給付

あけみ日誌



お元気ですか。「医療関係に子どもが勤めているので、毎日心配です。せめて定期的な検査を。」という切実な声。リスクの高い職場の定期的な検査体制を町に要望。社会保障、医療削減をすすめてきた国の政治を転換させよう! この頃、就寝前に辻井伸行さんのピアノ演奏のCDを聞きながらストレッチをして穏やかな時間を過ごしています。といっても、腰が肩がイタタ・・・体よ蘇れ!

本日がわかる 明日がみえる

原免、書法、消費税、雇用、TPP...「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。くらしに役立つ情報も満載です。



●毎日配達の日刊紙 月 3,497円
●毎週配達の日曜版 月 930円

幼小中学生に対する感染予防・熱中症対策・学習支援・経済支援

- ・ 使い捨てマスク、冷感マスクの配布
- ・ 非接触型体温計、空気清浄機購入
- ・ 幼稚園児用帽子つきフェイスシールド購入
- ・ リベルテホール図書室、図書消毒器購入
- ・ 児童へネッククーラー購入
- ・ 熱中症危険指数計の購入
- ・ 幼稚園にワンタッチテント、パーテーション購入
- ・ アルコール、ペーパータオル
- ・ 幼稚園にスポーツドリンク購入
- ・ 特別教室にエアコン設置
- ・ 保育室、体育館にスポットクーラー購入
- ・ 中学校の窓に網戸の設置
- ・ 中学校へ製水器購入
- ・ 小中学校へ1人1台のパソコン配備
- ・ GIGAスクール環境整備費用、学習用ソフト等の購入
- ・ 小学校に学習支援員配置
- ・ 幼小中学校の給食費を6月から来年3月まで無償化

- ・ 感染症外来開設に伴うドライブスルーPCR検査費用の負担
- ・ 保健センターで利用する検診用器具滅菌器購入

避難所等での感染防止対策物品の購入・備蓄

- ・ マスク、アルコール、電子温度計、空調服、ダンボールトイレ、発電機、パーテーション、テント、防災倉庫3基

議会役員改選

7月臨時議会で、議会の役員改選がありました。

議長選挙では、新澤良文氏5票、森下明氏2票、白票1票で、新澤氏が議長に選出されました。新澤あけみ議員は、「民主的な議会をめざす」ことを主張された森下氏に投票しました。

高齢者の移動手段はどうする？

8月26日の議会全員協議会で、町は高齢者の移動手段として、「基本料金分を助成するタクシー利用券」を交付する意向を示しました。コロナ禍のもと、今すぐできることをまず実施したいということです。今後、詳細について審議される予定です。

来年も、小中学校1クラス20数名の少人数学級の実施で、子どもたちの学びや安全を

日本の小中学校の学級規模は児童が40人とされていますが、欧米諸国では、20人から30人が当たり前となっています。コロナ危機は、子どもたちの学びや安全を保障するためには、20人程度の少人数学級の実現が急務であることを鮮明にしました。こうしたなか、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国小・中・高・特別支援学校の4校長会も政府に少人数学級を要望。現在、教育研究者有志の少人数学級実現を求める署名も全国に広がっています。

高取町では、今年度、県からの教員の加配を受けて小中学校全学級で20数名学級が実現されています。（自治体の裁量で少人数学級を実施することができま

す）。6月議会で、新沢あけみ議員は来年度も少人数学級が実現されるよう繰り返し行政に求めました。



9月議会の日程

- 14日 本会議 議案上程 一般質問
- 15日 総務経済建設委員会 教育厚生委員会
- 16日 予算審査特別委員会
- 17日 決算審査特別委員会
- 18日 決算審査特別委員会
- 23日 本会議 議案審議